

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

国際・地域連携センター ニュースレター 〈第1号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8555 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

編集責任者：吉用

はじめに

目次

- p1 はじめに
- p2 生涯学習部門
- p4 産学官民連携部門
- p6 知的財産部門
- p7 国際連携部門

国際・地域連携センターでは、日々の様々な取り組み・活動を学内外の皆様にも“ニュースレター”としてお知らせすることとしました。

“ニュースレター”は、センターの各部門のトピックスを掲載しております。今回は、“ニュースレター”の創刊号として平成23年4～5月のセンター活動を報告いたします。各トピックスについてのお問い合わせや、ご意見等お寄せいただければ幸いです。今後のセンター活動に反映していきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

今号のトピックス一覧

部 門	内 容
生涯学習部門	Topic1. 6月30日 土佐町から出前スタート Topic2. オープン・クラス開講 今年度の受講生は何名？
産学官民連携部門	Topic1. 4月26日 12自治体が集結 ～初の全体会合～ Topic2. 土佐FBC開講 4期生33名が志を胸に歩みだす Topic3. 高知県が産学官連携研究募集中 県内企業との共同研究プラン求む！
知的財産部門	Topic1. 四国発！知財シンポジウムに医学部佐藤教授が出展 Topic2. アジア最大！バイテク展示会に イノベティブマリンテクノロジー研究発表
国際連携部門	Topic1. マレーシアの名門校 プトラ大学と留学交流 Topic2. 四国発！グローバル人材育成に経産省が最高評価

Topic 1. 土佐町の出前公開講座「自然と文化」の概要決定

～6月30日 土佐町から出前スタート～



出前公開講座とは、高知大学が地域に出かけて、市町村の教育委員会と連携して開催する公開講座です。地域に対して高知大学の存在意義を認識していただくと同時に、地域との連携による地域課題の吸い上げ等、重要な役割を担っています。

平成23年度は、昨年度と同じく土佐町、中土佐町、大豊町で開催いたします。これら地域のほか、梶原町とも開催に向けて協議を進めております。

土佐町での講座が決まりました。

受講対象:土佐町民

開催時間:19時～20時半

日程	担当講師名	題目
6月30日(木)	受田 国際・地域連携センター長 教授	「地域ブランドを創る！～高知の強みを 活かしきる」
7月7日(木)	沢村 土佐 FBC 人材創出特任 教授	「高知の柚子 ～日本一とその魅力～」
7月14日(木)	原 総合研究センター防災部門 准教授	「南海地震に備える ～東北地方太平 洋沖地震から学ぶこと～」
7月21日(木)	篠 高知大学名誉教授	「今に生きる兼山の仕事」
7月28日(木)	野地 教育学部教授	「少年スポーツ指導を考える」or 「少年スポーツ指導の在り方」

Topic 2. オープン・クラス開講 28 講座 66 名

オープン・クラスは、本学が行う大学開放事業の一環で、大学の授業を一般の方に公開し、学生とともに受講していただいています。これは、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をますます深めようとするものです。

本年度の開講期間は、平成 23 年 4 月 11 日から平成 23 年 8 月 8 日までで、開講講座数は 28 講座（共通教育 8 講座、専門教育 20 講座）、受講予定者数は 66 名となっております。



共通教育

授業科目	学部	定員	受講者数
土佐の自然と農業	農学部	3 名	3 名
フードサイエンスの世界	農学部	3 名	3 名
植物生態学概論	農学部	3 名	1 名
環境資源学概論	農学部	3 名	1 名
コミュニケーション論	医学部	3 名	2 名
地震の災害	理学部	—	1 名
江戸時代の社会と生活	人文学部	—	2 名
法学入門	人文学部	—	2 名

専門教育

授業科目	学部	定員	受講者数
考古学概論 I	人文学部	3 名	3 名
倫理学概論 I	人文学部	3 名	4 名
ラテンアメリカ経済社会論	人文学部	3 名	4 名
日欧異文化間コミュニケーション論 I	人文学部	3 名	5 名
公共経済学	人文学部	3 名	2 名
東洋史特講	教育学部	3 名	2 名
教科専門演習 I	教育学部	3 名	2 名
英語学特講	教育学部	3 名	6 名
哲学概論	教育学部	3 名	4 名
火成作用	理学部	3 名	3 名
組み合わせとグラフの理論	理学部	3 名	1 名
食品化学	農学部	3 名	2 名
蔬菜園芸学	農学部	3 名	4 名
測量学	農学部	3 名	1 名
暖地園芸学概論	農学部	3 名	1 名
水族環境学	農学部	3 名	1 名
心理学概論 I	人文学部	—	3 名
日本史特講	教育学部	—	1 名

Topic 1. 4 月 26 日 12 自治体が集結 ～初の全体会合～



高知大学はこれまで、各市町村と連携協定に基づく連携事業を推進してきましたが、これからの事業の推進・展開においては、より幅広い視点と連携自治体間のネットワークの醸成を視野に入れて考えています。そこで、これまで以上に幅広い連携事業の展開を協議する場として、連携自治体の企画担当役(課長)が一堂に会し、地域振興を所管する高知県や地域アクションプランの推進役でもある地域支援企画員の出席も頂きながら、「高知大学連携自治体課長会」を開催しました。

当日は、各市町村から現状と課題が発表され、情報を共有するとともに今後の連携について意見交換が行われました。

日時:平成 23 年 4 月 26 日(火)13:00-17:00

場所:人文学部棟5階第1会議室

参加者数:50名<市町村職員;19名、高知県職員;15名(うち地域支援企画員12名)高知大学教職員;16名>

Topic2. 土佐 FBC 開講 4 期生 33 名が志を胸に歩みだす



「土佐フードビジネスクリエーター(FBC)人材創出」事業は、地域における食品産業の振興に必要とされる中核人材を育成することを目的として、平成 20 年度、文部科学省科学技術振興調整費に採択され、4年目を迎えました。これまで、延べ78名の修了者を輩出してきました。平成 23 年度は、地域の食品関連企業従事者や農業者、農業生産団体従事者、行政職員など33名の受講者を迎え、平成 23 年 5 月 13 日(金)に4期生の土佐 FBC 開講式を行いました。

(土佐 FBC 人材創出について <http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/~ckkc0001/tosafbc/>)

Topic 3. 高知県が産学官連携研究募集中

～県内企業との共同研究プラン求む！7月19日〆切！！～

高知県商工労働部にて、競争的資金の公募が開始されました。県内の産学官が連携し、大学等のシーズや企業ニーズに基づく実用化研究(実験室で試作品が完成するなど、3年以内に事業化研究に移行することなどが見込まれる研究)を行う委託業務について、公募型プロポーザル方式による企画提案書の募集が下記の通り行われます。

○応募要件

- ・「産学」または「産学官」による共同申請であり、運営や経理を適切に管理できる「学」または「産」の機関を代表とする。
- ・「産」は原則として県内民間企業を指す。ただし、複数の企業が参画する場合は、県内企業は1社でよい。

○見積限度額

20,000 千円/年

○研究期間

最長3年(～平成26年3月)

○企画提案書の提出期限 **学内締切:平成23年7月19日(火)**

1次募集:平成23年7月29日(金)午後5時15分(必着)

2次募集:平成23年9月30日(金)午後5時15分(必着)

詳細については高知県ホームページを参照またはセンター産学官民連携部門にお問い合わせください。
(高知県 HP: <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/151901/h23-sankangaku-itaku.html>)

Topic 1. 四国発！知財シンポジウムに医学部佐藤教授が出展



6月4・5日の両日、日本弁理士会、日本弁理士会四国支部、徳島大学の主催により、四国で初めて「知的財産シンポジウム」が開催されました。

シンポジウムは、岩井良行 特許庁長官による「世界をリードする知的財産立国「日本」と題した特別講演をはじめ「知的財産権」「産学官連携」「知的財産教育」の個別講演やパネルディスカッション等が行われました。

また、会場のポスターセッションゾーンにおいて、本学から

- ① 医学部 教授 佐藤隆幸先生の企業との共同研究から誕生した「近赤外蛍光術中ナビゲーション・カラーイメージングシステムの開発」
 - ② 本学組織として知的財産部門および産学官民連携部門を持つ「高知大学 国際・地域連携センターの活動紹介」
- の2件について、ポスター展示、説明等を行いました。

・日 時：平成 23 年 6 月 4 日(土)～5 日(日)

9:30～18:00 (5 日は 17:00)

・会 場：徳島大学 常三島キャンパス 共通講義棟

・ホームページ：<http://www.ccr.tokushima-u.ac.jp/topic/20110604-05symposium.html>



Topic 2. アジア最大！バイテク展示会にイノベティブマリンテクノロジー研究発表

今年もバイオテクノロジーに関するアジア最大の研究成果・技術発表、展示の場となる「第 10 回バイオアカデミックフォーラム(併催 国際バイオEXPO)」が下記の通り開催されます。

今回、10 周年記念講演として「日本から世界へ！復活の鍵は？」を共通テーマに、京都大学ips細胞研究所の山中伸弥先生と(株)島津製作所フェロー田中最先端研究所の田中耕一先生が講演されるとともに、総勢150名におよぶ各大学、研究機関等の研究者が、プレゼンテーションやポスター展示を通じて最新の研究成果を発表する予定となっています。

また本学からは、イノベティブマリンテクノロジー研究関係者3名の研究発表・パネル展示を行う予定です。

- ①複合領域科学部門の津田正史教授「海洋微細藻由来の生物活性天然分子」
- ②テニュアトラック教員 寺本真紀特任講師「海洋深層水の微生物資源の利用」
- ③テニュアトラック教員 小野寺健一特任助教「海洋微細藻類の有用物質探索」

多数の方のご来場をお願いいたします。

・日 時：平成 23 年 6 月 29 日(水)～7 月 1 日(金)10:00～18:00 (1 日は 17:00)

・会 場：東京ビッグサイト西展示棟

・ホームページ：<http://www.bio-expo.jp/academia/>

・問合せ：バイオテクノロジー国際会議事務局 リードエグジビジョンジャパン

電話：03-3349-8509 E-mail: bio@reedexpo.co.jp

Topic 1. マレーシアの名門校 プトラ大学と留学交流

本学農学部にて5月23日から6月5日まで滞在し、LEADERS MOBILITY TRIGGERS GLOBAL THINKING PROGRAMに参加している大学間協定校であるマレーシア プトラ大学の学部学生6名の訪問がありました。国際連携部門の教員及び本学に在籍しているマレーシア出身留学生との意見交換を行いました。本学での学生生活等についての質問に対して、高知大学概要及び国費外国人留学生制度等を説明するなど有意義な情報交換の場となりました。

日時:平成23年5月25日(水)14:00~16:00

場所:国際・地域連携センター国際連携部門2F会議室

参加者数 14名<マレーシアプトラ大学;6名、本学マレーシア出身留学生;4名、
本学;4名>

Topic 2. 四国発！グローバル人材育成に経産省が最高評価

平成19年度から実施してきた「アジア人財資金構想」高度実践留学者育成事業について、経済産業省から管理法人である(財)四国生産性本部にかかるヒアリング審査の結果通知があり、総合評価として最高の評価である「A」と位置付けられました。

平成22年度末で経済産業省からの予算措置が終了し、対象在籍学生が修了する平成23年度は高知大学独自事業として予算措置され実施しています。今後は、得られたノウハウや人的ネットワークを生かし、グローバル人材の育成に努めていく予定です。

就職状況

	管理法人全体 参加人数	高知大学 参加人数	高知県内 就職者数	四国内就職者数 (高知県内を除く)	帰国・進学者数
1期生 (平成19年度生)	17	3	1	1	1
2期生 (平成20年度生)	17	1	0	0	1
3期生 (平成21年度生)	20	4	1	1	2
4期生 (平成22年度生)		5	1 (内定)	未定	未定

※1期生から3期生までのプロジェクト実施・参加大学

(徳島大学・香川大学・高松大学・愛媛大学・高知大学・松山大学・松山東雲女子大学・
今治明德短期大学・愛媛女子短期大学)